

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 398

事務事業名	中里原町線整備事業	
-------	-----------	--

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課(新工業団地推進室)		
課長名	池田 一洋	内線	470
担当者名	福田 謙一郎	内線	473

基本目標	030301	安全・安心なまち
政策		交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	7	防衛施設周辺整備事業費
事業コード	010200	防衛施設周辺道路改修等事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	道路利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	交通環境の整備を行うことで、道路利用者の安全確保と自動車交通の円滑化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	道路の狭小区間の解消のため道路整備を行う。今年度は、防衛施設周辺整備事業として事業採択を受けるため、関係各機関と協議を進める。 H27年度 概略設計、費用便益分析、調査 1式 [委託] H28～H29年度 九州防衛局ほか関係機関協議 H30年度 測量・調査・実施設計 1式 [委託] H31年度 用地・補償 H32～H34年度 道路改良工事 延長L=1,320m(計画)、道路幅員W=7.0		
事業期間	平成 27 年度	～	平成 34 年度
実施方法	直営、委託		

成果指標名	道路の改良率			算定式等	当該道路の年度末までの整備延長/当該道路の延長	
着手前現状値	平成 27 年度	単位	%			0
完了後計画値	平成 34 年度					100

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額			5,575				5,575
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
実施設計	実績・計画額					63,000		63,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額						61,000	61,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	
建設工事	実績・計画額							525,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
事務費等	実績・計画額				365	811	3,000	3,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	1.13%	3.65%	12.98%	22.30%
合計	実績・計画額	0	0	5,575	365	811	66,000	64,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.81%	0.86%	0.98%	10.59%	19.91%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	5,575	365	811	66,000	64,000	686,751
国庫支出金						46,200	44,800	476,000
県支出金								
地方債						14,800	14,400	153,000
その他								
一般財源			5,575	365	811	5,000	4,800	57,751
② 人件費(千円)	0	0	0	5,357	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)				0.65	新規事業採 択・実施計画 協議	測量、調査、 実施設計	用地取得、 補償	
時間外勤務(時間)				315				
嘱託等人数(人)				0.00				
フルコスト(①+②千円)	0	0	5,575	5,722				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	事業計画基礎資料作成のため、道路概略設計の業務を実施した。また、九州防衛局をはじめ関係各機関との事前協議に着手した。
事業が抱える問題・課題等	防衛施設周辺整備事業として新規事業採択されるための手続きを進める必要がある。また、事業用地として必要な国有地を含む用地確保のため、防衛省、財務省をはじめ関係各所との調整も必要になる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	当該道路を利用する車両等の安全確保や交通の円滑化を図るうえで必要不可欠である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近隣の既存工業団地への通勤車両も通行している事から、道路交通の安全性確保のため緊急性は高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	拡幅改良工事の実施により、車両の円滑な離合が可能となることで交通事故の危険度も減少し、道路交通の安全性向上に大きく寄与する。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし	削減の余地あり			該当なし	
	事業の実施においては、建設コストの削減に十分配慮した工事の設計を行うことで、事業の経済性・効率性を図る。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり			該当なし	
	防衛補助事業の補助率は国において定められており、見直しの余地はない。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	早期の事業採択を目指すため、今年度も引き続き事業を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	円滑な道路交通により、道路利用者の交通安全が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	道路交通の安全を確保することは、安心・安全なまちづくりを進める上で重要であり、整備効果は高い。		内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。